

日学保第102号
令和8年6月15日

都道府県・指定都市学校保健（連合）会 御中
都道府県・指定都市教育委員会 学校保健主管課 御中

公益財団法人 日本学校保健会
会長 松本吉郎
(公印省略)

令和8年度 公益財団法人日本学校保健会特別セミナー
「子供の健康とスマホ・ゲーム依存」講習会（オンデマンド配信）
開催要項の送付について（依頼）

時下 ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は、本会事業の推進に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本会では、主に学校関係者を対象に、いわゆる「ゲーム依存」に代表されるインターネット依存症等への理解とその課題解決を図ることを目的に別紙要項の通り、標記講習会を開催いたします。

つきましては、ぜひこの機会に多数の方々に受講いただきたく、貴管内の学校をはじめ関係機関への周知等ご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 配信期間 令和8年6月22日（月）～令和8年9月30日（水）
2. 申込受付期間 令和8年6月15日（月）～令和8年9月30日（水）
3. 申込方法 Webサイト「学校保健」ポータルサイトより、お申し込みください。
※詳細および申込 URL は別添の「開催要項」をご参照ください。

以上

《本件照会先》
公益財団法人 日本学校保健会（担当：石山）
TEL：03-3501-0968 FAX：03-3592-3898
E-mail：ishiyama@hokenkai.or.jp

公益財団法人日本学校保健会 特別セミナー
令和8年度「子供の健康とスマホ・ゲーム依存」講習会（オンデマンド配信）
開催要項

1 目的

公益財団法人日本学校保健会で令和元年度に実施した「メディアリテラシーと健康行動に関する調査」（高2対象：44都府県86校8,451名）の報告書（令和3年3月発行）によると、「平日1日当たりのインターネットの利用時間」は、男女ともに「約2～3時間」が最も多く約45%でしたが、「6時間以上」が男子12.9%、女子10.2%でした。また、ゲームを利用している時間は、男子で「約1時間」が最も多く31.6%、次いで「約2～3時間」26.9%、「6時間以上」は3.7%、「不使用」9.3%でした。女子では、「不使用」が最も多く40.5%、次いで「約30分未満」28.4%で、「6時間以上」は1.0%でした。同調査では、テレビの視聴時間が短くなっている反面、SNSやゲームなどに没頭する子供たちが多いことがわかります。これらスマートフォンを代表するインターネット端末の普及は、睡眠不足などの健康課題のほか、ネットによるいじめをはじめ、引きこもりや不登校の要因になるという指摘もされています。

そこで、日本学校保健会では、主に学校関係者を対象に、いわゆる「ゲーム依存」に代表されるインターネット依存等への理解とその課題解決を図ることを目的に本講習会を開催します。

2 主催 公益財団法人 日本学校保健会

3 対象（申込み・視聴：無料）

小・中・高・特別支援学校（含私立）の管理職・教諭・養護教諭等学校関係者、学校医、学校歯科医、学校薬剤師 等

4 配信期間 令和8年6月22日（月）～ 令和8年9月30日（水）

5 申込受付期間 令和8年6月15日（月）～ 令和8年9月30日（水）

6 申込方法（事前申込み制：学校保健ポータルサイト <https://www.gakkohoken.jp/news/archives/187>）

(1) 上記の参加申込ページへアクセスする

(2) 申込みフォームに必要事項を入力し、送信する

(3) 登録したE-mailアドレスへ返信メールが届くと、受付完了

注1) 必ず返信メールが受け取れるE-mailアドレスでご登録をお願いします。

注2) 届いた返信メールの転送・複写・譲渡等を禁じます。



7 内容

(1) 講演①（60分） 「ゲーム・SNS・スマホ依存について」

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 名誉院長 樋口 進 先生

(2) 講演②（60分） 「子供の健康とスマホ・ゲーム依存 夏休みの注意点など」

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 主任心理療法士 三原 聡子 先生

《本件照会先》

公益財団法人 日本学校保健会（担当：石山）

TEL：03-3501-0968 FAX：03-3592-3898

Mail:ishiyama@hokenkai.or.jp